

海の森づくり

第8回

シンポジウム

「東京湾の環境と魚たち、 今・昔」

2011年9月3日(土) & 4日(日)

会場：東京海洋大学
　　楽水会館
　　鈴木善幸ホール

参加費：1,000円/人（2日目も有効）
資料代：1,000円/部

【関連イベント：展示・講習】

- 1) 東京湾の食用海藻
 - 2) ポスターセッション

【オプショナルイベント】

- | | |
|-----------------|------------|
| 1) 5月5日 (こどもの日) | 干潟観察会 |
| 2) 5月18日 (水) | 磯の海藻観察会 |
| 3) 7月18日 (海の日) | 海藻おしば体験教室 |
| 4) 2012年3月 | 館山市西岬ツアーハン |

* 東京湾地図：国土技術政策総合研究所 沿岸海洋研究部 海洋環境研究室 提供

主催 特定非営利活動法人 海の森づくり推進協会
共催 壱岐東部漁業協同組合、(社)観音崎自然博物館、NACS-J自然観察指導員東京連絡会、NPO法人「環境ネットワーク・文京」、
ウーマンズフォーラム魚、(財)国際海洋科学技術協会、西岬漁業協同組合
後援 東京海洋大学、環境省関東地方環境事務所、東京都、東京湾の環境をよくするために行動する会、(社)大日本水産会、
(社)海と諸環境美化推進機構、(社)自然资源保全協会、(社)マリノフォーラム21、(社)海洋産業研究会、(社)ディレクトフォース、
(財)東京水産振興会、(財)日本釣振興会、海洋政策研究財団、(公財)日本自然保護協会、(公財)オイスカ、海の幸に感謝する会、
全日本漁港建設協会、日本海藻協会、21世紀の水産を考える会、NPO事業サポートセンター、水産ジャーナリストの会、
水産経済新聞社、読売新聞社、毎日新聞社、東京新聞

はじめに

- 海の森づくり推進協会は、地球温暖化防止、生物多様性の保全並びに循環型社会形成を目指し、「海の森づくり」運動を展開してきました。2009年に当協会が主催した第3回こんぶサミットで東京湾の環境修復が取り上げられ、これまでの縦割りのアプローチのネットワークの強化とこんぶのみならず海藻全体を対象とすることの重要性が指摘されました。
- そこで今回は、東京湾の環境修復、改善、保全活動並びに食べ続けられる東京湾の魚に关心を持つできるだけ多様な関係団体・個人にご参加頂き、コミュニケーションネットワークの強化を図り、東京湾を良くしたいという動きをクローズアップし世論を喚起することを目指します。
- このシンポジウムでは、「海の時代」の賢い海の利用モデルの構築をめざし東京湾の環境改善に关心を持つ団体に広く横断的に参画を呼び掛け、情報提供並びに事例発表と討論を通じ、当事者間の横断的なコミュニケーションの場を提供し、望ましい将来展望を開くネットワークの構築を目的とします。
- この度は、3月11日の東日本大震災・福島原発事故で亡くなられた方々へ深くお悔やみ申し上げますと同時に被災者の皆様へ心からお見舞い申し上げます。
- 最後になりましたが、この海の森づくり第8回シンポジウム「東京湾の環境と魚たち、今・昔」の実施に当たり、共催者・後援者・スピーカーの皆様の他、多くの団体・個人の皆様のご協力をいただきました。皆様方のご協力がなければ、本事業は実現しませんでした。ここにご協力いただいた皆様方に厚く御礼申し上げます。さらに、当日ご参加の皆様には、本シンポジウムが実り豊かなものに為りますよう積極的なご参加を期待いたしております。



会場：東京海洋大学 楽水会館 鈴木善幸ホール

第1部 東京湾の変貌と江戸前の魚 日時：9月3日（土）09:30-17:00

東京湾の変貌と江戸前の魚の歴史を関係者から情報を提供してもらい今後の改善のポイントや東京湾の環境改善ネットワークの効率化を図る方法を討論します。

■基調講演1 東京湾の変貌と課題

講師 独)水産総合研究センター研究主幹 中田 薫氏



中田 薫氏 小泉 武夫氏

■基調講演2 江戸前の魚は粋で食う

講師 東京農業大学名誉教授 小泉 武夫氏



オオニシ 恭子氏 大嶋 和雄氏

■基調講演3 ヨーロッパにおける海藻食推進の現状と課題

講師 「HUIS VAN KYOKO」主宰 オオニシ 恭子氏



中山 敏則氏 磯部 雅彦氏

■パネル討議 東京湾の変貌と江戸前の魚

座長 茨城大学 元教授 大嶋 和雄氏



柿野 純氏 小泉 正行氏

◆話題提供

・干潟の変化と諸問題—三番瀬を中心に—

三番瀬市民調査の会事務局長 中山 敏則氏



柿野 純氏 小泉 正行氏

・東京湾の栄養塩の変化

東京大学教授 磯部 雅彦氏



野村 英明氏

・東京湾の底質の特徴

産業技術総合研究所上席研究員 斎藤 文紀氏



野村 英明氏

・貝類の種類と数量の変化

株式会社東京久栄技術顧問 柿野 純氏

野村 英明氏

・東京都内湾の生物を通してみる湾奥の現状と課題

東京都島しょ農林水産総合センター 小泉 正行氏

野村 英明氏

■総合討論 東京湾環境修復ネットワーク強化へ向けた課題1：

望ましい将来展望を開くネットワークの構築

座長 東京大学大気海洋研究所特任研究員 野村 英明氏

●総合司会：海の森づくり推進協会事務局長 藤野 修二郎

シンポジウム 第2部

会場：東京海洋大学 楽水会館 鈴木善幸ホール

第2部 東京湾の環境修復 日時：9月4日（日）09:30-17:00

東京湾の生物多様性の回復と環境修復に積極的な学者・湾岸自治体・企業・漁業者・NPO等から事例を通じ東京湾の環境修復の過去・現在・未来にわたって情報提供してもらいます。そこで、これまでのアプローチで良かった点と悪かった点は何であったか、これからどんな努力が特に望まれているか、また、東京湾の環境修復ネットワークの効率化を図るとするなどどのようなアプローチが望ましいか討論致します。

■基調講演4. 東京湾における環境再生のポテンシャル 講師 独)港湾空港技術研究所研究主監 中村 由行氏



■基調講演5. みんなでよくする東京湾 講師 元新潟大学教授、弁護士 鶩見 一夫氏



■パネル討議 東京湾の環境修復 座長 日本大学理工学部教授 堀田 健治氏



◆話題提供

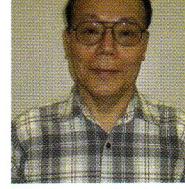
・東京都海の森構想の概要

東京都港湾局臨海開発部海上公園計画担当課長 関田 国吉氏



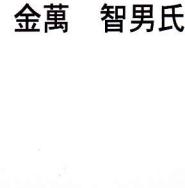
・ナウキャストシステムの概要と貧酸素水塊の時空間変動

横浜国立大学大学院都市イノベーション研究院教授 佐々木 淳氏



・海の森づくり…生産物の利用と課題

株式会社キミカ 代表取締役社長 笠原 文善氏



・漁師なるものは社会起業家たれ！

(株)エンジョイ・フィッシュマン取締役 金萬 智男氏



・お江戸観光エコシティを夢見て！

海洋観光研究所エコライフコンサルタント 中瀬 勝義氏

■総合討論

東京湾環境修復ネットワーク強化へ向けた課題2：

東京湾の環境修復ネットワークの効率化を図れる条件とは何か

座長 東京大学名誉教授・高知大学名誉教授 高橋 正征氏

■海の森づくり基金発起人会の創設

海の森づくり推進協会代表理事 松田 恵明

●総合司会：海の森づくり推進協会事務局長 藤野 修二郎

